

地域の生活課題に関する調査

みなさまには、日頃から川崎市の市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。現在、本市では『第6期川崎市地域福祉計画』の見直しに向け、市民や団体活動を行っている方々の（意識）調査を実施しております。

この（意識）調査は、『第6期川崎市地域福祉計画』の見直しに関わる調査の一つとして、無作為に選ばせていただきました市内在住の18歳以上の方を対象に、地域における生活課題などについての意識やご意見、ご要望をおたずねするものです。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することはありません。また、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月 川崎市長 福田 紀彦

【記入にあたってのお願い】

- ご回答は、最初から順番にお答えください。
- ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
- 質問によっては、○をつける選択肢の番号を「○は1つだけ」「あてはまるものすべてに○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
- ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**12月16日（金）まで**にポストに投函してください。

※外国人の方で日本語を読むことが困難な方におかれましては、ルビ付きの調査票をご準備しておりますので、必要な方はご連絡ください。また、川崎市国際交流センターで相談をお受けしておりますので、お気軽にご相談ください。

【調査結果の公表】

この調査の結果は、地域福祉実態調査概況のうち「地域の生活課題に関する調査概況」として、川崎市ホームページ（<http://www.city.kawasaki.jp/>）に掲載します。

本調査について、ご不明な点・ご質問等がございましたら、お問い合わせください。

■問い合わせ先

川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室地域福祉担当
 電話番号：044-200-2626（直通）
 FAX：044-200-3926
 ☎210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
 E-mail：40keasui@city.kawasaki.jp

【最初に、あなたご本人やご家族のことについておたずねします】

問1 性別を教えてください。（○は1つだけ）

- | | | |
|-------|-------|----------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 選べない・答えたくない |
|-------|-------|----------------|

問2 年齢は満何歳ですか。（○は1つだけ）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18・19歳 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 |
| 4. 30～34歳 | 5. 35～39歳 | 6. 40～44歳 |
| 7. 45～49歳 | 8. 50～54歳 | 9. 55～59歳 |
| 10. 60～64歳 | 11. 65～69歳 | 12. 70～74歳 |
| 13. 75歳以上 | | |

問3 お住まいはどこですか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 川崎区（区役所管内） | 2. 川崎市（大師支所管内） |
| 3. 川崎区（田島支所管内） | 4. 幸区（区役所管内） |
| 5. 幸区（日吉出張所管内） | 6. 中原区 |
| 7. 高津区（区役所管内） | 8. 高津区（橋出張所管内） |
| 9. 宮前区（区役所管内） | 10. 宮前区（向丘出張所管内） |
| 11. 多摩区（区役所管内） | 12. 多摩区（生田出張所管内） |
| 13. 麻生区 | |

問4 お住まいの町名をご記入ください。

（○丁目と続く場合は数字を【 】に記入してください。）

町名 【 】 【 】丁目

問5 現在お住まいの区には何年住んでいますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～3年未満 | 3. 3～5年未満 |
| 4. 5～10年未満 | 5. 10～20年未満 | 6. 20年以上 |

問6 現在のお住まいの形態を教えてください。（○は1つだけ）

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て） | 2. 持ち家（マンション・団地） |
| 3. 借家（一戸建て） | 4. 借家（マンション・アパート・公団・下宿等） |
| 5. 社宅・寮・公務員住宅 | 6. その他（ ） |

問7 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|----------|----------|---------------|
| 1. 祖父母 | 2. 父 | 3. 母 |
| 4. 配偶者 | 5. 兄弟姉妹 | 6. 子 |
| 7. 孫 | 8. その他親族 | 9. いない（一人暮らし） |
| 10. その他（ | | ） |

問8 一緒に暮らしているご家族（あなたを含む）のうち、以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---|
| 1. 同居している65歳以上の方がいる |
| 2. 同居している要介護認定を受けている方がいる |
| 3. 同居している障害者手帳（身体・療育・精神保健福祉）の交付を受けている方がいる |
| 4. 同居している小学校就学前の子どもがいる |
| 5. 同居している小学生の子どもがいる |
| 6. 同居している中学生以上の18歳未満の子どもがいる |
| 7. 家に引きこもりがちな方がいる |
| 8. いずれにも該当する家族がいない |

問8-1 同居していないご家族を含め、ご家族のうち、以下の項目に該当する方は、いらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1. 同居していない65歳以上の方がいる |
| 2. 同居していない要介護認定を受けている方がいる |
| 3. 同居していない障害者手帳（身体・療育・精神保健福祉）の交付を受けている方がいる |
| 4. 上記1～3以外で、同居していない家族の中に気に懸かる方がいる
（ |
| 5. いずれにも該当する家族がいない |

問9 就業の状況はどれに該当しますか。（○は1つだけ）

ア 就業状況

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 就業している
（→「イ 就業形態」へ進む） | 2. 就業していない
（→「ウ 就業していない理由」へ進む） |
|-----------------------------|-----------------------------------|

イ 就業形態

- | |
|------------------------|
| 1. 常勤・フルタイム |
| 2. パート・アルバイト（通勤あり） |
| 3. パート・アルバイト（通勤なし、内職等） |
| 4. その他（ |

ウ 就業していない理由

- | | |
|----------|----------|
| 1. 家事専業等 | 2. 定年退職者 |
| 3. 学生 | 4. その他（ |

問10 あなたの健康状態はいかがですか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 非常に健康 | 2. ほぼ健康 |
| 3. あまり健康でない | 4. 健康でない |

問11 あなたは現在、健康上の問題で6か月以上の期間にわたり、日常生活に何か影響がありますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------|-------------|
| 1. ある | 2. ない ⇒問12へ |
|-------|-------------|

問11-1 それはどのようなことに影響がありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|----------------------------------|
| 1. 日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など）に影響がある |
| 2. 外出（時間や作業量などが制限される）に影響がある |
| 3. 仕事、家事（時間や作業量が制限される）に影響がある |
| 4. 運動（スポーツを含む）に影響がある |
| 5. その他（ |

【「川崎市地域福祉計画」についておたずねします】

川崎市では、川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築をめざして、令和3年3月に「市民一人ひとりが共に支え合い安心して暮らせるふるさとづくり」を基本理念とする『第6期川崎市地域福祉計画』及び7つの区で『区地域福祉計画』を策定しました。

地域福祉計画は、それぞれの生活の拠点である地域において、共に生きるまちづくりの精神を発揮して、市民と行政がともに地域社会の生活課題の解決に取り組むことにより、誰もが安心していきいきと健やかに暮らせるような地域社会をつくることを目的としています。

また、“地域福祉”とは、こうした地域社会をつくりあげていくための市民や行政の取組と言えます。

問 12 あなたは、川崎市に『第6期川崎市地域福祉計画』及び『区地域福祉計画』があることをご存じですか。(〇は1つだけ)

- 1. 市の計画、区の計画の両方を知っている
- 2. 区の計画は知らないが、市の計画は知っている
- 3. 市の計画は知らないが、区の計画は知っている
- 4. 市の計画も区の計画も知らない ⇒問 13 へ

問 12-1 計画は何で知りましたか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 市政日より | 2. 市や区のホームページ |
| 3. チラシ・パンフレット | 4. 市や区の計画での取り組みに参加した |
| 5. 団体等の会合 | 6. 交流会・ワークショップ |
| 7. シンポジウム | 8. 講演・講習会 |
| 9. 口コミ（友人・知人や近隣の方からの） | |
| 10. その他（ | ） |

【あなたがお住まいの地域についておたずねします】

問 13 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。(〇は1つだけ)

- 1. 両隣
- 2. 向こう三軒両隣程度
- 3. 同じ集合住宅（アパート、マンションなど）
- 4. 歩いて5分（およそ100m）以内程度
- 5. 歩いて10分（およそ200m）以内程度
- 6. その他（

問 14 あなたは、ふだんご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 家族のように親しくつきあっている | |
| 2. 電話、メールなども含めて、親しく話をする | |
| 3. とくどき話をする程度 | 4. あいさつをする程度 |
| 5. ほとんどつきあいがいい | 6. その他（ |

問 15 あなたは、近所つきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。(〇は1つだけ)

- 1. 地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ
- 2. いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方がよい
- 3. 困った時は当然助け合うべきだが、日頃の交流は面倒なのであまりしたくない
- 4. 地域での助け合いは必要だと思わないが、地域で交流すること自体は大切だ
- 5. 地域との交流より、気の合った仲間やグループで交流し、その中で助け合えばよい
- 6. 困った時は行政などが支援すべきで、地域での助け合いや日頃の交流は必要ない
- 7. その他（

問 16 現在、町内会・自治会に加入していますか。(〇は1つだけ)

- 1. 加入している ⇒ 問 17 へ
- 2. 加入していたが、退会した・加入したことはない

問 16-1 現在加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 行事に参加できない | 2. きっかけが無い |
| 3. 特に不便を感じない・必要性を感じない | |
| 4. 集合住宅の管理組合に加入している | |
| 5. 仕事、子育て、介護等が忙しくて時間がない | |
| 6. 地域のつきあいがわずらわしい | 7. 会費に見合うメリットがない |
| 8. 加入の仕方がわからない | 9. 面倒だから |
| 10. 関心がない | 11. その他（ |

問 17 あなたは、助け合いをすることができる「地域」の範囲を、どの程度だとお考えですか。
(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 隣近所程度 | 2. 町内会・自治会程度 |
| 3. 小学校区程度 | 4. 中学校区程度 |
| 5. お住まいの区内程度 | 6. 川崎市内程度 |
| 7. それ以上 | 8. その他() |

問 18 あなたは、その「地域」での生活において、いま何が問題だと感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 健康づくりに関する問題(ストレス、食育、生活習慣病など) |
| 2. 高齢者に関する問題(介護、権利擁護、生きがいづくり、見守りなど) |
| 3. 障害児・者に関する問題(地域生活支援、権利擁護、活動支援、障害に対する理解など) |
| 4. 子どもに関する問題(育児不安、児童虐待、ヤングケアラー、子育て支援、教育、しつけ、遊び場づくりなど) |
| 5. 地域防犯・防災に関する問題(交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など) |
| 6. 地域のつながりに関する問題(近所づきあい、新型コロナウイルスなど新興感染症による対面での交流、人と人との関係が希薄など) |
| 7. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題 |
| 8. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題 |
| 9. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない(足りない)という問題 |
| 10. 地域での活動・資源に関する問題(買い物、移動、食事など) |
| 11. その他() |
| 12. 特に問題だと感じていることはない ⇒問 19へ |

問 18-1 その問題は、具体的にどのようなことですか。身近な事例などがあれば教えてください。

問 19 あなたは、家庭生活の中で次のような不安を感じたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない |
| 2. 介護が必要な家族を家庭で介護できる自信がない |
| 3. 経済的に生活できるか不安である |
| 4. 病気になったときに頼れる人が身近にいない |
| 5. 子育てがうまくできるか不安である |
| 6. その他() |

問 20 あなたの心配ごとを解決するために必要だと思われることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 身近でいつでも相談できるところがあること |
| 2. 保健や福祉のサービスの利用料が低額であること |
| 3. 保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること |
| 4. 緊急時にすぐに手助けをしてくれる人が身近にいること |
| 5. 利用できる保健や福祉のサービスの種類がたくさんあること |
| 6. 保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること |
| 7. 保健や福祉のサービスの質を評価した情報があること |
| 8. その他() |
| 9. 特に何も必要だとは思わない |

問 21 あなたは、日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき、誰に相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 同居している家族 |
| 2. 友人・知人 |
| 3. 離れて暮らしている家族 |
| 4. 区役所地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)の職員 |
| 5. かかりつけの医療機関 |
| 6. 近所の人 |
| 7. 福祉施設やサービス提供事業所の職員 |
| 8. 地域包括支援センター等専門相談機関 |
| 9. 民生委員児童委員 |
| 10. 社会福祉協議会 |
| 11. 民間の相談機関(電話相談を含む) |
| 12. インターネット |
| 13. その他() |
| 14. 相談する人はいるが、誰にも相談しない |
| 15. 相談する人がいない |

問 22 あなたには、友人と呼べる人がいますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|--------|--------|
| 1. いる | 2. いない | ⇒問 23へ |
|-------|--------|--------|

問 22-1 何人くらいいますか。

人

問 22-2 その中で、実際に会ったことのないインターネット上の友人はいますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 23 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に手助けを頼みたいですか。（○は3つまで）

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 民生委員児童委員 |
| 5. 社会福祉協議会 | 6. 地域の活動団体 |
| 7. NPO等の民間団体 | 8. 区役所・市役所 |
| 9. 地域の医療機関 | 10. ケアマネジャーやホームヘルパー等 |
| 11. その他（ | ） |
| 12. 誰もいない | 13. 頼みたくない |

問 24 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。（○は3つまで）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 安否確認の見守り・声かけ | 2. 趣味など世間話の相手 |
| 3. 子育て・介護などの相談相手 | 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 |
| 5. 草むしり、冷蔵庫内の整理 | 6. ちょっとした買い物 |
| 7. 子どもの預かり | 8. 外出の付き添い |
| 9. 災害時の手助け | 10. ごみ出し・雨戸の開け閉め |
| 11. 電池交換や簡単な大工仕事 | 12. その他（ |
| 13. 特にない | ） |

問 25 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。（○は3つまで）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 安否確認の見守り・声かけ | 2. 趣味など世間話の相手 |
| 3. 子育て・介護などの相談相手 | 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 |
| 5. 草むしり、冷蔵庫内の整理 | 6. ちょっとした買い物 |
| 7. 子どもの預かり | 8. 外出の付き添い |
| 9. 災害時の手助け | 10. ごみ出し・雨戸の開け閉め |
| 11. 電池交換や簡単な大工仕事 | 12. その他（ |
| 13. 特にない | ） |

問 26 現在、あなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要になった場合に、病院や介護施設などに入院・入居せずに在宅で療養することは可能ですか。（○は1つだけ）

- | |
|------------------------------|
| 1. 現在、在宅で療養している |
| 2. 在宅で療養したいし、おそらく可能である |
| 3. 在宅で療養したいが、おそらく不可能である |
| 4. おそらく在宅で療養することは可能だがしたくない |
| 5. おそらく在宅で療養することは不可能だし、したくない |
| 6. その他（ |
| ） |

問 27 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思いますか。（○は1つだけ）

- | |
|--------------------------------|
| 1. 意思表示の書面は必要であり、すでに作成している |
| 2. 意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない |
| 3. 意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている |
| 4. 意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある |
| 5. 意思表示の書面は必要ないし、家族で話し合う必要もない |
| 6. すべて家族にまかせるので必要ない |
| 7. すべて医療者や病院にまかせるので必要ない |
| 8. その他（ |
| ） |

問 28 社会的不安や孤独・孤立の問題に対応していくために、地域での見守りの取組として、有効だと思う取組はありますか。（○は5つまで）

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組 |
| 2. 電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組 |
| 3. 民生委員児童委員による見守りの取組 |
| 4. ごみ収集（ごみ出しが困難な高齢者等への支援や声かけ）による確認 |
| 5. 定期的な電話や傾聴等の話し相手 |
| 6. 会食会、コミュニティ・カフェ、サロンなどを催し、地域交流を深める取組 |
| 7. 地域包括支援センター等による生活実態の把握 |
| 8. 弁当の配食時に安否確認する取組 |
| 9. 児童の登下校時の見守りの取組 |
| 10. 身近な地域で開催される運動や体操などの取組 |
| 11. その他（ |
| ） |
| 12. 特にない |
| 13. わからない |

問 29 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つだけ)

1. すでに制度を利用している
2. おおむね制度について知っている
3. 言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない
4. 知らない ⇒問30へ

問 29-1 制度の相談窓口となっている機関で知っているものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 区役所地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)
2. あんしんセンター(成年後見支援センター)
3. 地域包括支援センター
4. 障害者相談支援センター
5. その他()

【地域活動やボランティア活動についておたずねします】

問 30 あなたは、次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 健康づくりに関する活動 | 2. 高齢者に関する活動 |
| 3. 障害児・者に関する活動 | 4. 子育てに関する活動 |
| 5. 医療に関する活動 | 6. 町内会・自治会に関する活動 |
| 7. 社会福祉協議会に関する活動 | 8. お祭りやイベントに関する活動 |
| 9. 地域安全に関する活動 | |
| 10. 環境美化(ゴミ拾いなどを含む)に関する活動 | |
| 11. 文化・芸術に関する活動 | |
| 12. スポーツ(運動会などを含む)に関する活動 | |
| 13. 自分のスキル(能力や技能)を活かした活動 | |
| 14. オンラインでの活動 | |
| 15. その他() | |
| 16. 今は参加していないが条件が整えば参加したい ⇒問30-2から問30-5へ | |
| 17. 参加したことがない ⇒問30-6へ | |

「1」～「15」に○をつけた方は、問30-1へ進む

問 30-1 活動に参加した動機やきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人の役に立ちたいから
2. 自分たちのために必要な活動だから
3. 家族・友人・知人から誘われたから
4. 学校の授業などで機会があったから
5. 困っている人や団体から頼まれたから
6. 余暇を有効に活用したいから
7. 趣味や特技を活かしたいから
8. 楽しそうだから
9. つきあいのため、やむを得ず
10. その他()
11. なんとなく

問 30-2 あなたは、今後どのような活動なら参加したいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 健康づくりに関する活動 | 2. 高齢者に関する活動 |
| 3. 障害児・者に関する活動 | 4. 子育てに関する活動 |
| 5. 医療に関する活動 | 6. 町内会・自治会に関する活動 |
| 7. 社会福祉協議会に関する活動 | 8. お祭りやイベントに関する活動 |
| 9. 地域安全に関する活動 | |
| 10. 環境美化(ゴミ拾いなどを含む)に関する活動 | |
| 11. 文化・芸術に関する活動 | |
| 12. スポーツ(運動会などを含む)に関する活動 | |
| 13. 自分のスキル(能力や技能)を活かした活動 | |
| 14. オンラインでも参加可能な活動 | |
| 15. その他() | |
| 16. 具体的にはわからない | |

問 30-3 その理由は何ですか。具体的にお書きください。

問 30-4 参加される場合、活動可能な日数はどのくらいですか。（○は1つだけ）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 週3回以上 | 2. 週1～2回 | 3. 月2～3回 |
| 4. 月1回 | 5. 月1回未満 | |

問 30-5 オンラインでの活動も含めて、参加される場合、活動可能な時間はどのくらいですか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 平日日中（10～17時）2時間以内 | 2. 平日日中（10～17時）4時間以内 |
| 3. 平日日中（10～17時）6時間以内 | 4. 平日夜間（17～20時） |
| 5. 休日日中（10～17時）2時間以内 | 6. 休日日中（10～17時）4時間以内 |
| 7. 休日日中（10～17時）6時間以内 | 8. 休日夜間（17～20時） |

問 30-6 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1. 仕事や家事が忙しく時間がない
2. きっかけがつかめない
3. 身近に活動グループや仲間がいない（知らない）
4. 健康に自信がない
5. 家族や職場の理解が得られない
6. 興味を持てる活動がない
7. 育児や介護を必要とする家族がいる
8. 一度はじめると拘束されてしまう
9. 行政や事業者が行えばよい
10. 人と接するのが苦手
11. 地域活動やボランティア活動はしたくない
12. その他（
13. 特に理由はない |
|--|

問 30-7 あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---|
| 1. 活動する時間ができれば
2. オンライン等を活用した活動であれば
3. きっかけがあれば
4. 身近に活動グループや仲間がいれば
5. 体力や健康に自信があれば
6. 家族や職場の理解が得られれば
7. 興味を持てる活動があれば
8. ボランティア活動に参加していることが評価されるようになれば
9. その他（
10. 地域活動やボランティア活動はしたくない |
|---|

【保健・福祉に関することについておたずねします】

問 31 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等をご存知ですか。（○はそれぞれ1つだけ）

	1 知っている	2 知らない
ア. 社会福祉協議会	1	2
イ. 民生委員児童委員	1	2
ウ. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）	1	2
エ. 地域包括支援センター	1	2
オ. あんしんセンター（成年後見支援センター）	1	2
カ. 老人クラブ	1	2
キ. いきいきセンター（老人福祉センター）	1	2
ク. いこいの家（老人いこいの家）	1	2
ケ. 障害者相談支援センター	1	2
コ. 地域療育センター	1	2
サ. 地域リハビリテーションセンター	1	2
シ. 聴覚障害者情報文化センター	1	2
ス. 視覚障害者情報文化センター	1	2
セ. 児童相談所	1	2
ソ. 地域子育て支援センター	1	2
タ. こども文化センター	1	2
チ. 福祉パル（区社会福祉協議会）	1	2
ツ. 総合福祉センター（エポックなかはら）	1	2

1. 名前も活動内容も知っている
2. 名前を知っており、活動内容も少しは知っている
3. 名前は知っているが、活動内容は知らない ⇒ 問 33 へ
4. 名前も活動内容も知らない ⇒ 問 33 へ

1. 在宅福祉サービスの充実
2. 子育て支援の充実
3. ボランティア活動の促進
4. 各種福祉講座・教室の開催
5. 身近な相談の場としての機能強化
6. 住民懇談会等の小地域活動の促進
7. NPOやボランティアグループへの支援
8. 福祉関係団体の活動支援
9. その他（ ）
10. 特になし

1. 市の広報
2. インターネットのホームページ
3. チラシ・パンフレット
4. 新聞・テレビ
5. 民生委員児童委員
6. 社会福祉協議会
7. 区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
8. 町内会・自治会の回覧板
9. 友人・知人
10. 学校
11. 近隣
12. 団体等の広報紙等
13. その他（ ）

1. ほとんど毎日 2. 週に2～3日程度 3. 週に1日程度
4. 月に数日程度 5. ほとんどない

問 35 避難や救助が必要となる災害に備えて、あなたが防災に関して取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 防災グッズの準備、食料や水の備蓄など
2. 携帯トイレ（簡易トイレ）を備えておくこと
3. 停電時の対策（懐中電灯、ランタン、電池の用意・通電火災への対策等）
4. 近くの学校や公園などの避難場所の確認
5. 緊急時における家族との連絡方法の確認
6. 学校や勤め先からの帰宅ルートの確認
7. 子どもや高齢者などの世話を誰かに頼む
8. 警戒レベル（5段階）などの防災情報の意味を知っておくこと
9. その他（
10. 特になし

1. 近所の人と挨拶をする程度関係をつくっておくこと
2. 避難するのに支援が必要な人を把握しておくこと
3. 住民同士で家族構成・要介護度などについてある程度知っておくこと
4. 地域で用意している救助資材の内容や管理場所を知っておくこと
5. ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと
6. 地域の避難所を知っておくこと
7. 地域で主体的に防災につながる活動を行うこと
8. 防災訓練に参加すること
9. ボランティア活動への参加
10. わからない
11. その他（

1. 川崎市地域防災計画
2. 各区地域防災計画
3. 地区ごとに作成している防災計画
4. 災害時要援護者避難制度
5. 川崎市防災マップ
6. 土砂災害ハザードマップ
7. 福祉避難所
8. 防災啓発冊子「備える。かわさき」
9. 川崎市防災ポータルサイト
10. 自主防災組織
11. マイタイムライン
12. 川崎市災害ボランティアセンター
13. すべて知らない

問 38 あなたは、市・区が保有する高齢者や障害者の情報を、見守りや防災・防犯のために、他の部局や自主防災・防犯組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。（○は1つだけ）

1. 見守りや防災・防犯のためであれば、積極的に個人情報共有・活用すべき
2. 見守りや防災・防犯のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報共有・活用してもよい
3. 見守りや防災・防犯のためであっても、個人情報共有・活用しないほうがよい
4. わからない

問 39 あなたは次の情報のうち、『防災・防犯などの緊急時に備える』ためであっても、他人に知られたくないものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|--------------------------|----------------|----------------|
| 1. 現住所・電話番号 | 2. 会社、学校等の連絡先 | 3. 緊急時の親族等の連絡先 |
| 4. メールアドレス | 5. 出生地 | 6. 生年月日、年齢 |
| 7. 血液型 | 8. 顔写真などの画像 | 9. 家族構成 |
| 10. 年金、生活保護などの公的扶助の受給の有無 | | |
| 11. 電話や電子メールなどの通信履歴 | 12. 病歴、障害の有無など | |
| 13. かかりつけ医、服薬、障害の程度 | 14. 介護保険の要介護度 | |
| 15. 福祉サービスの利用状況 | 16. 健康保険証の記号番号 | |
| 17. その他（ | | ） |
| 18. 特にない | 19. わからない | |

問 40 あなたは次の情報のうち、『ふだんの見守り活動』のためだとしても、他人に知られたくないものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|--------------------------|----------------|----------------|
| 1. 現住所・電話番号 | 2. 会社、学校等の連絡先 | 3. 緊急時の親族等の連絡先 |
| 4. メールアドレス | 5. 出生地 | 6. 生年月日、年齢 |
| 7. 血液型 | 8. 顔写真などの画像 | 9. 家族構成 |
| 10. 年金、生活保護などの公的扶助の受給の有無 | | |
| 11. 電話や電子メールなどの通信履歴 | 12. 病歴、障害の有無など | |
| 13. かかりつけ医、服薬、障害の程度 | 14. 介護保険の要介護度 | |
| 15. 福祉サービスの利用状況 | 16. 健康保険証の記号番号 | |
| 17. その他（ | | ） |
| 18. 特にない | 19. わからない | |

【今後の地域福祉の推進についておたずねします】

問 41 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 住民同士が自ら地域課題の把握やその解決方法を探るための話し合いの機会をつくること
2. 地域の課題や問題に主体的に取り組むボランティアや地域で活動する人を増やすこと
3. 地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること
4. 地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること
5. 家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと
6. その他（
7. 特に取り組むべきことはない

問 42 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市民への意識調査や団体アンケート、聞き取りなどによる地域課題やニーズの把握
2. 行政からの一元的な情報提供、相談の場づくり
3. ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成
4. 福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示
5. サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実
6. ワークショップや地域交流会などによる地域の課題等を共有する場・機会の提供
7. 地域の自主的活動と行政サービスの連携強化
8. その他（

問 43 今後、地域福祉を推進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座
2. ワークショップやKJ法※など会議の方法や進め方が学べる講座
3. 地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座
4. アンケート調査や聞き取り調査などさまざまな調査技術が学べる講座
5. 支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座
6. 活動の中心となるリーダーとして身につけるべきことが学べる講座
7. 障害者が困っていることを疑似体験を通して学べる講座
8. 先進的な取り組み事例が学べる講座
9. その他（
10. 特にない

※KJ法：データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて図解し、情報や課題を整理していく方法

問 44 川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものをお答えください。（○は1つだけ）

※「地域包括ケアシステム」とは…

誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けるため、住まい、医療、介護、予防、福祉・生活支援が切れ目なく、一体的に提供される仕組と地域づくりの取組のことです。この取組を進めるには、市民や事業者、地域・ボランティア団体、行政など、地域全体でそれぞれが適切な役割分担により、取り組むことが大切です。

1. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っていて、具体的に行動している⇒問45へ
2. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかは知っているが、具体的に行動していない⇒問45へ
3. 地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない
4. 地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない
5. 地域包括ケアシステムを聞いたことがない

問 44-1 地域包括ケアシステムにおいて、市民一人ひとりに期待される行動としては、自らの健康管理をしっかりと行うことをはじめ、近隣住民との交流や様々な地域活動に関わることにより、支え合い・助け合う地域づくりに関わることなどがあたります。このような行動を行っていますか。（○は1つだけ）

1. 定期的に行っている（具体的に： ）
2. たまに行っている （具体的に： ）
3. 行っていないが、機会があれば行いたい
4. 行っていないし、関心もない

問 45 「地域包括ケアシステム」の取組等について、御意見があればお書きください。

問 46 最後に、『川崎市地域福祉計画』または『区地域福祉計画』に対するご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。